

平成28年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価

報 告 書

平成28年10月

常総市教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の概要

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果について報告書を議会に提出するとともに公表する。

2 点検・評価の対象

平成27年度常総市教育運営方針に掲げる事務

3 点検及び評価の方法

- ①平成27年度常総市教育運営方針の重点目標に対する主な取り組み、成果等を取りまとめ、常総市教育審査委員の総合的な評価を受けた。
- ②平成27年度常総市教育運営方針に基づく当該年度の事務の管理及び執行の状況を項目別に整理し、達成度を3段階で自主点検するとともに、これに対する今後の方向性を示した上で、常総市教育審査委員がその有効性を3段階で評価し、及び意見等を付した。

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を実施したので、次のとおり報告する。

平成28年9月20日

常総市教育審査委員 梅 澤 浩

常総市教育審査委員 廣 瀬 征 夫

平成27年度常総市教育運営方針

常総市では、合併後の平成20年に「健やかにひとを育み 緑豊かなまちづくりじょうそう」を将来都市像とした常総市総合計画を策定し、平成25年度から5年間に取り組むべき基本方針として「常総市総合計画後期基本計画」を策定しました。市民の生涯を通じた学習活動の広がりにより、地域ぐるみでのまちづくりを支える人づくりや創造性豊かな明日を担う子どもたちの育成とともに、地域文化が生まれ、人と文化づくりを実感できる「豊かな人間性を育むまち」を目指します。

そのため、次の基本目標を掲げその実現に努めます。

◎ 基本目標

- 1 未来に夢をもち 「生きる力」を育む 学校教育の充実
- 2 安全 安心 いきいき学ぶ 教育環境の整備
- 3 市民のための 進んで学ぶ 生涯学習の推進
- 4 いきいき健康づくり 生涯スポーツの振興
- 5 読書教育の充実

1 学校教育を充実し、次世代を育てます

各幼稚園・学校が創意工夫を生かし特色ある教育活動を展開することで、幼児・児童・生徒が豊かな人間性や基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、個性を生かし、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育むという学習指導要領の趣旨を踏まえる一方、常総市の課題解決に向けた教育や特色を生かした教育の実践を目指します。

◎ 本年度の重点目標

- ① 校舎等の耐震化を進めるとともに、小中学校の空調整備を推進し、教育環境の整備・充実を図る。（学校教育課）

【主な取組，成果等】

○耐震化の推進

大生小校舎及び大花羽小校舎の耐震補強工事を実施した。

○小中学校空調整備

近年の異常気象に対応するため、普通教室等に空調を設置するために、小学校においては14校（全小学校）の実施設計業務を行い、中学校においては未整備だった水海道中・鬼怒中・石下中の3校に空調を整備した。

- ② 学習指導要領等の内容を踏まえ、確かな学力を身に付けさせる指導を充実し、教員の指導力の向上と指導のための環境整備，拡充を図る。（指導課）

【主な取組，成果等】

- ・市内全校への学校訪問指導により、わかる授業づくりのための指導助言を行った。
- ・各校で作成した「学校改善プラン」をもとに、授業改善，研修体制，保護者への働きかけについて、目標達成への意識向上を図った。
- ・「全国学力・学習状況調査」や「学力診断のためのテスト」の結果分析を生かして、各校の課題と指導法を明確にするための研修を行った。

- ③ 教科指導をはじめとしたICT活用の推進を図る。（指導課・学校教育課）

【主な取組，成果等】

- ・電子黒板，デジタル教科書を活用した授業の推進，指導法の研修や指導を行った。
- ・校務支援システムを活用し，業務の効率化を図った。
- ・ICT活用研修を実施し，教員のICT活用能力の向上を図った。

H27.8 市教育研究会と「コンピュータ研修講座」（タブレット活用，校務支援システム利用，学校ホームページ編集等）を開催

- ④ 公立幼稚園の統合に向けた具体的な検討を行う。(学校教育課)

【主な取組, 成果等】

8月に平成27年度第1回「常総市立幼稚園のあり方検討会」を開催し、現状分析、PTA連絡協議会の要望内容の検証、今後の検討事項の整理や意見交換を行った。関東・東北豪雨災害(以下「豪雨災害」という。)によりその後の検討を中断。

- ⑤ 土曜日補習教室(常総ほっとサタデー教室)を設置し、学習につまずきがみられる児童に対して、学校や保護者との連携を図りながら学習支援を行う。(指導課)

【主な取組, 成果等】

児童の自主学習の習慣化と基礎的・基本的な学習内容の定着に効果がみられた。また、次年度に向け、実施会場の増設について検討を行った。

2 生涯を通じた学習活動を促進します

自ら進んで学ぶ生涯学習社会に呼応し、多様な学習機会と情報の提供、指導体制の充実を図り、自己実現に向けた市民の主体的な取組みを積極的に支援します。

また、各種文化事業やスポーツ事業の充実と活動組織の育成を図り、市民相互の交流を促進します。さらに、市民の誇りである貴重な有形無形の歴史文化遺産の適切な保全・継承に努めるとともに、情報発信と有効活用を進めます。

◎ 本年度の重点目標

- ① それぞれのライフステージに応じた多様な学習機会を充実させ、生涯にわたる学習の継続による一人ひとりの資質・能力の向上を目指す生涯学習を推進する。(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

前期(6月~11月)及び後期(12月~3月)に分けて、教養講座(市民大学、文学・歴史各コース)や料理教室、健康講座、書道講座ほか、ひとり一人のライフスタイルに応じた学習機会を企画し実施したところであるが、前期途中の豪雨災害以降、各実施施設の被災や避難所としての使用により、各講座が中止となった。

このことにより、今年度未実施分の取り組みを次年度に引継ぎ、生涯学習の推進を図る。

- ② 市民の自主的文化・芸術活動を支援する。また、再生の出来ない郷土遺産の保全、歴史的建造物、資料等の利活用を推進する。(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

「長塚節文学賞」を開催し、広く作品を募集した。また、入選作品集の刊行も

行い、「節のふるさと常総」の文化を全国に発信した。

20回を数える「篠山木挽き唄全国大会」の開催を計画し、準備を進めていたが、豪雨災害により中止となった。今年度未実施となった本大会を次年度に引継ぎ、木挽き唄の普及、保存伝承を図る。

市民の文化芸術の発表の場として開催している市民文化祭も、豪雨災害により中止となった。今年度未実施となった文化祭を次年度に引継ぎ、文化・教養の向上と文化団体の育成を図る。

鴻野山地区の土地改良事業にかかる発掘調査を実施し、遺跡の存在を確認した。この発見は、今後、当市の歴史において貴重なものであり、適切な保全が必要となっている。

- ③ 青少年育成常総市民会議や青少年相談員の全市的な連携、子ども会組織の円滑な運営を支援する。(生涯学習課)

【主な取組、成果等】

青少年育成常総市民会議と青少年相談員の共催による「少年の主張大会」は、豪雨災害により中止となった。今年度未実施となった「少年の主張大会」を次年度に引継ぎ、広い視野をもった考え方や柔軟な発想力・想像力の向上を図る。

また、子ども会においても子どもまつり、サマーキャンプ等の開催により、人間社会で生きていくための様々なスキルを体得させることにより心身ともに健やかな青少年の育成を図った。

- ④ 誰もが生涯を通じてスポーツを楽しみ、健康づくりを進める生涯スポーツ社会の実現を目指し、総合型地域スポーツクラブの設立を支援する。

(スポーツ振興課)

【主な取組、成果等】

現在、設立されている総合型地域スポーツクラブである「常総スポーツクラブ」の活動を支援しており、主な支援活動は、活動施設の確保、主催事業の広報、スポーツ教室の委託を実施している。幼児から高齢者まで、そのニーズに応じたスポーツ活動が主で、高齢者を中心に会員数約50名程度である。

○総合型地域スポーツクラブ「常総スポーツクラブ」への活動支援

・活動施設の確保

五箇小学校校庭（小学生陸上教室）

五箇小学校体育館（未就学園児キッズサッカー教室）

きぬ総合公園（スロージョギング）

水海道総合体育館（一般社会人から高齢者：ショートテニス）

石下総合運動公園（ジュニアマラソン教室、スロージョギング）

※豪雨災害により9月～11月一部中断

・活動事業の広報支援

常総スポーツクラブ主催のスポーツ教室及びスポーツ大会開催のお知らせ版掲載，ホームページへの掲載。

「お知らせ版」3月，8月，11月，H28.1月

・スポーツ教室委託事業

一般を対象としたウォーキング教室開催

委託費 100,000円（10日間，13名参加）

- ⑤ スポーツをとおしてふれあい，市民相互の交流活動を促進する魅力あるスポーツ体験イベントを開催する。（スポーツ振興課）

【主な取組，成果等】

○合併10周年記念 平成28年度 親子deいきいきスポーツフェスタ

○合併10周年記念 常総市駅伝大会

※いずれも豪雨災害により中止

総合評価

はじめに

平成27年9月の未曾有の豪雨災害に対して、「教育は停滞させられない」との使命感と責任感により、幼稚園、小・中学校の早期再開，それに続く復旧工事への着手，児童生徒のメンタル面のフォロー等ハード，ソフト両面からの復旧・復興への取り組みに敬意を表する。

学校以外の施設も被害を受け，また避難所となるなどして，計画されていた事業の中止や通常業務の縮小となった。被災した施設の早期復旧並びに今後の活発な事業展開を期待したい。

1 「学校教育を充実し，次世代を育てる」ことについて

- 「確かな学力」を身につけるために学習指導要領の精神に則り指導することが求められる。学校教育において教員の指導力の向上は必須条件であり，充実した研修の場の整備を望む。各校はカリキュラム・マネジメントを十分に行い，「学校改善プラン」を有効に活用することが求められる。
- 自主学習の習慣化，基礎基本の定着を目指す「常総ほっとサタデー教室」は，一人一人を大切にする教育の基本である。今後も指導スタッフの充実や実施場所の拡充等学習支援の継続を望む。
- 教科指導や校務において進められているICT活用には，適切なセキュリティの確保に努められたい。また，児童生徒への情報モラル教育も重要であり，推進を図られたい。
- 教育環境の整備・充実を図り，安全安心に教育を受けられる環境を整えることは教育に携わる者の務めであり，特に老朽化した施設の改修は必須である。
近年の地球温暖化による気候変動に対応し，良好な学習環境提供のため，普通教室等への空調機器設置が着実に進められており，評価できる。
- 引き続き「市立幼稚園のあり方検討会」等を活用して幼稚園の再編統合を推進されたい。

2 「生涯を通じた学習活動を促進する」 ことについて

- 高齢化社会を迎え、各自のライフスタイルに応じた学習機会を提供することは、市民の生きがい、向上心の発揚、自己実現への主体的な取り組み等への支援となっており、さらなる拡充を望む。また、開講講座のマンネリ化や受講者の固定化も見受けられ、より多くの市民が参加できる企画の提供等改善に努められたい。
- 長塚節文学賞、篠山木挽き唄全国大会、市民文化祭、鴻野山遺跡調査等様々な文化事業の実施は、市の文化度を測るバロメーターであり、今後も施策の充実を図られたい。特に長塚節文学賞は全国的な関心事業となっており、益々の発展を願う。
- 「少年の主張大会」は子供たちの視野を拡大したり、柔軟な発想力を高めたりする絶好の機会であり、継続、充実を望む。
- 総合型地域スポーツクラブである「常総スポーツクラブ」は、生涯スポーツ振興の核となるものであり、幼児から高齢者まで幅広いニーズに対応した活動となるよう積極的な支援を期待する。
- 合併10周年記念常総市駅伝が豪雨災害により中止となったが、復興を印象付け市民に元気を与える行事として、今後の開催を望む。また、継続的行事に発展するよう努力されたい。

<項目別点検及び評価>

達成度	計画又は目標を	有効性
○	達成又は概ね達成	◎ 成果がある
△	及ばず	○ 一定の成果がある
×	実施できず	×
		× 成果がほとんどない

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
1-(1) 学校教育の充実						
①就学前教育の充実						
	教育環境の整備	園児の安全を第一に老朽化した施設の修繕を優先的に実施した。 工事件数：25件 工事費：1,176千円	△	再編・統合計画の進捗を見極め、改築計画を検討していく。	○	・園児の安全安心が第一であり、老朽化した施設の修繕、改修は最優先事項として取り組んでいただきたい。 ・公立幼稚園の統合については、「市立幼稚園のあり方検討会」を再開し、保護者等の意見を聴取し推進していただきたい。
	幼稚園・保育所の一元化の研究	公立幼稚園の再編をめざし、「市立幼稚園のあり方検討会」を開催し、現状分析や意見交換等を行った。9月の豪雨災害によりその後の検討を中断。	△	小規模化の進んでいる東部地区3園の統合を先行して検討する。	○	
②学校教育環境の整備						
	学校施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化の推進 校舎耐震補強等工事 大生小 工事費等：169,128千円 大花羽小 工事費等：56,441千円 ・児童数の増加等に対応した絹西小学校の敷地拡張（H27支払分）繰越事業 拡張工事：202,107千円 ・屋内運動場の漏水等解消 鬼怒中（繰越分） 監理設計：810千円 工事費：21,208千円 ・特定天井等落下防止工事等 ：380,860千円 屋内運動場（小14校・中4校） 石下西中除く 武道場（中5校） 	○	老朽化対策として校舎、屋内運動場等の大規模改造等に着手していく。	◎	・ハード面を中心により良い教育環境の整備は必須である。安全点検を計画的、継続的に実施し、施設の危険箇所、老朽箇所の修繕、改修をこれまで通り最優先に取り組んでいただきたい。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	学校施設の整備	近年の厳しい気候のためよりよい学習環境を充実するための工事を推進する。 空調機器設置工事等：182,358千円 (水海道中・鬼怒中・石下中の3校分) 空調機器設置実施設計業務：26,817千円 (小学校全校)	○	中学校全校設置できたので今後は小学校及び幼稚園の設置に努めていく。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・学校情報通信センターシステムの運用についてはセキュリティに細心の配慮が必要である。 ・安全な通学路の確保については、安全点検を定期的を実施すると同時に関係機関との密接な連携が必要である。常総市通学路安全推進会議の効果的な活用を期待する。
	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・一般備品（図書含）の購入 小学校：9,568千円 中学校：4,631千円 ・教材備品の購入 小学校：12,595千円 中学校：6,657千円 ・豪雨災害復旧 消耗品：7,188千円 備品：20,200千円 	○	継続	◎	
		原子力・エネルギー教育支援事業補助金による備品購入 1,997,028円	○	継続	◎	
		学校情報通信センターシステム、校務支援システムの運用により、学校情報化及び教職員の業務の軽量化を図った。 センターシステム運用経費：18,080千円 校務支援システム運用経費：2,645千円 情報機器借上：3,394千円	○	引き続き老朽化した情報機器を計画的に更新していく。	◎	
	学校の安全対策強化	危険箇所及び老朽化した施設の修繕を優先的に実施した。 工事件数：小学校151件 中学校 64件 工事費：小学校14,405千円 中学校 6,888千円	○	修繕予算の確保に努めるとともに、長寿命化計画に準じた校舎等の改修を推進していく。	◎	
	通学環境の整備	常総市通学路安全推進会議を開催し、通学路の安全確保等について協議。 関係者と通学路の合同安全点検を実施した。	△	関係機関や関係課と連絡を密にし、通学路の安全確保に努める。	○	
	地域と連携する学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者評価の実施 ・地域人材の活用及び職場体験等の実施 ・各校HPに地域自慢の掲載 等を推進 	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
③学校教育内容の充実						
	新たな教育課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・市独自の学校活性化加配講師，教育補助員，外国人児童生徒支援員の配置 ・少人数指導や習熟度別指導などによる「個に応じた指導」を实践 ・適応指導教室と学校との連携強化 ・不登校児童生徒の解消に向けた取組 	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人を大切にし，知・徳・体を兼ね備えた「生きる力」を育む教育を展開していただきたい。 ・加配教員，教育補助員，支援員等の充実に期待したい。 ・かしの木スクールについては，県研修センターや保健所等の専門家と連携を密にし，問題行動を示す子やその保護者に積極的に関わっていただきたい。その姿勢が教育の基本と考える。 ・幼稚園・小学校に4名，中学校に5名のALTを配置し，外国語能力の向上と異文化理解に成果を挙げているが，今後もALTによる外国語教育の系統的カリキュラムの指針作りと効果的な指導事例の蓄積に努力されたい。 ・専門的で深い識見による学校訪問活動を通じて，教員の指導力向上に努めていただきたい。 ・少人数の学校事務職員は，職場で孤立し，孤独になりやすいので，「学校事務共同実施協議会」等でメンタル面のサポートも必要であろう。
	体験的地域学習の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生議会の開催 ・地域の特色を生かした体験学習の充実 ・討議する活動や問題解決的な学習の推進 	○	継続	◎	
	高度情報化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・情報活用能力を育成する情報（ICT）教育の推進 ・学校情報通信センターシステム，校務支援システムの運用による業務の効率化 	○	学校ICT推進委員会での議論等を踏まえ，学校現場と連携して教育の情報化を推進していく。	◎	
	交流教育・国際理解教育の推進	ALTの活用による幼稚園からの英語活動の充実（ALTと英語で遊ぼうの実施等）	○	継続	◎	
	特別支援教育の充実	個の教育的ニーズに応える教育支援	△	継続	○	
	教職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・要請訪問等での授業公開 ・JOSO若手教員アカデミー（研修会）の拡充 ・学力向上プロジェクト外事業による各学校の学習指導の改善 	△	継続	○	
	学校事務の共同実施	<p>平成25年度から「常総市立学校事務共同実施協議会」を組織し，事務書類の相互検閲，事務の効率化・平準化の研究等を行ってきた。平成27年度は36回の共同実施作業を行った。</p> <p>また，今年度は「自律的，組織的な学校運営体制の構築に向けた調査研究事業」に係る実践研究校（モデル校）の指定を受け，3回の訪問指導を受け，学校の事務機能，運営体制の強化に関する調査研究の発表，研修等を行った。</p>	○	継続	◎	
④健康な児童生徒の育成						
	基礎学力の向上	常総ほっとサタデー教室の充実	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・常総ほっとサタデー教室は，自主学習の習慣化や学力向上に資するとともに非行防止にも寄与していると考ええる。拡充を検討されたい。
	安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた避難訓練の実施 ・被災時の対応の仕方に関する指導 	○	継続	◎	
	教育相談の充実	児童生徒のカウンセリング体制の充実	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	体力向上及び健康管理の強化	・体育的行事の奨励 ・運動部活動の充実と効果的な指導	△	継続	○	・豪雨災害を経験した本市においては、その体験を生かした防災訓練を検討してほしい。
	基本的な生活習慣の確立	・「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進 ・あいさつ運動や読書活動等による基本的な生活習慣の定着	○	継続	◎	
	⑤食育の推進					・安全安心な給食を提供し、心身の健全な発育に多大な貢献をしている。 ・今後とも地産地消の推進に努力されたい。
	学校給食の充実	児童生徒一人一人が、健康な生活が送れるように安心安全な給食提供の充実を目指すとともに、郷土への関心を深め、自然の恵みや働く人々への感謝の心を養うために地産地消の推進を目指す。	○	継続	◎	
	学校・家庭・地域との連携	栄養教諭等による学校・家庭・地域社会を含めた、食生活に対する正しい知識をもった児童生徒の育成、並びに、家庭教育学級等において保護者を対象とした食育の啓発・推進を目指す。	○	継続	◎	

1-(2) 高校・高等教育の充実						
①高等学校の特色化						
	地域活動との連携	・小中学校夏休み学習教室における高校生ボランティアによる指導 ・中学校における進路学習で高校生による講話の実施	○	継続	◎	・幼小中高の連携・交流は、課題の共有やお互いの良い点を学ぶ機会でもあり、積極的な推進を望む。
	高等教育機関等との連携	地域の高等学校が主催する弁論大会における中学生の積極的な参加	○	継続	◎	
②幼稚園・小学校・中学校・高等学校の連携						
	連携した事業の取組	・県の事業「学びの広場サポートプラン」(小学校・中学校)へ高校生ボランティアの派遣 ・小中学校間の教師、児童生徒の交流授業や訪問活動 ・中学校教諭による小学校での出前授業の実施 ・さわやかマナーアップ運動の小中合同での挨拶運動の実施	○	継続	◎	
	協力して進める行事等	学校行事等での積極的な交流	△	継続	○	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
2-(1) 生涯学習の充実						
①生涯学習推進体制の整備						
	推進組織づくり	諸団体の活動支援と指導者の発掘・育成が図れていない。	△	引続き活動支援と人材発掘・育成に努める	○	・講座の内容、指導者等のPRを十分行い、参加者が増えるような取り組みが必要である。
	学習情報の提供	広報紙やHP、全戸チラシ配布で講座等開催PRに努めた。後期については、豪雨災害により中止せざるを得なかったため、学習機会の提供ができなかった。	△	引続き実施する。	○	
②学習施設の充実						
	学習施設の機能充実	豪雨災害以降、被災施設の復旧作業を最優先に実施。	△	計画的に修繕を実施していく。	○	・豪雨災害により、多くの施設が被害を受けたが、早急な復旧に努めていただきたい。
	施設の有効利用	各種講座や団体の研修等による利用があるも、豪雨災害以降、被災施設をはじめ被害無しの施設においても避難所としての使用により休館。	△	使用可能施設より順次使用を再開する。	○	
③学習活動の支援						
	学習プログラムの提供	前期は、各種講座や教室を開催、市民大学事業では「歴史コース」「文化コース」など学習プログラムを開催実施した。後期については、豪雨災害により中止せざるを得なかったため、学習機会の提供ができなかった。	△	受講者等のアンケート結果を反映した講座の開催に努める。	○	・講座内容、講座の展開、受講者の固定化等でマンネリ化が指摘されているので改善を図りたい。 ・施設の復旧工事完了後は、今まで以上の学習活動の支援を望む。 ・豪雨災害という悪条件のもと、市内19校で実施された「家庭教育学級」は被災した家庭の不安等を学校と共有する絶好の場になったと考える。
	自主企画の推進	生涯学習センター及び地域交流センターが豪雨災害による復旧工事のため休館となり、自主事業も未開催である。	×	自主企画事業の計画的な開催を図る。	×	
	地域課題対応の活動推進	家庭教育学級の開催 市内19校全校で開催	○	引続き実施する。	◎	
	公民館活動の推進	各公民館において自主活動が開催されているが、「公民館まつり」については、豪雨災害により水海道地区以外の各館が中止となる。	△	建設計画のある大生公民館を除いて、引続き実施する。	○	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
④図書館活動の推進						
	図書館サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み期間中の月曜日を開館した。 利用者平均：130人/日→73人/月曜日 (56.1%) 貸出冊数平均：662冊/日→349冊/月曜日 (52.7%) 開館時間や休館日の見直しによる利用者へのサービスの提供 ※豪雨災害以降は休館 	△	利用率及び職員の勤務配置を含め、H29年度は従来どおり月曜日を休館日に戻す。	○	<ul style="list-style-type: none"> 豪雨災害により、休館や仮設図書館での運営を余儀なくされたが、早期に施設の復旧を図り、これまでのような充実した図書館サービスの再開を期待する。 読み聞かせボランティアやブックスタート事業は、早期の読書教育に成果を挙げている。継続を望む。 コンサートや夏休み科学遊び、古文書講座など多様な文化活動は市民生活を豊かにしている。今後もさらなる充実を望む。 インターネットによる情報発信も重要である。図書館ホームページの充実を検討されたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズに応え資料の充実を図った。 蔵書数 図書122,839冊 視聴覚資料10,605点 27年度資料購入費11,418千円 	△	豪雨災害により水没処分した図書資料が多いため拡大	○		
	<ul style="list-style-type: none"> Webによる予約数 図書374件、雑誌10件、CD75件 	△	Web利用者は通年開館なら、今後増加の傾向が見込まれる。	○		
	<ul style="list-style-type: none"> 学校、幼稚園、保育所及び児童クラブへの読み聞かせボランティアを派遣した。 30施設、112回実施、参加者5,673名 	○	継続	◎		
	<ul style="list-style-type: none"> 保健推進課で実施する12か月児健診の際、ブックスタートを実施している。 参加者 366人 絵本・イラストアドバイス集代 210千円 	○	絵本を通して親子の触れ合いを普及している。乳児の頃からの図書館利用にもつながる。	◎		

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の学校図書館への配本。 図書館で所蔵する本を読書教育の充実を図ることを目的に、H26、H27年で全校へ配本する。 500冊～1,000冊/校 (生徒・児童数による) ※9月以降は豪雨災害により5校未実施 ・保育所・幼稚園への巡回配本。 図書館で所蔵する絵本を各保育所・公立幼稚園に貸出をし、2ヶ月ごとに保育所・幼稚園を巡回した。 ※9月以降は豪雨災害により中止 	△	<p>今後も小中学校に対し計画的に書籍を配本する。 今後も保育所・幼稚園に対し計画的に巡回配本する。</p>	○	
		<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通しての自主事業の充実を図った。 リサイクルフェア 実施日:5/2～3, 参加者:338名,配本:2,674冊 レレコスモスコンサート 実施日:5/31, 参加者:68名 手づくり絵本教室 実施日:7/23,30,8/6 参加者:20名 夏休み科学遊び 実施日:7/26,参加者:14名 一日図書館員 実施日:8/2,参加者:6名 古文書初心者講座 実施日:9/6,13※13日は豪雨災害のため中止,参加者:13名 ・読み聞かせボランティア育成と活用の推進 ※豪雨災害以降は休館のため中止 	△	継続	○	
		<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚室,集会室等を学習室として開放した。 視聴覚室 利用回数:46回,利用者:740名 集会室 利用回数:28回,利用者:129名 ・2階和室をボランティア活動に開放した。 読み聞かせボランティアの打合せ 利用回数:13回,利用者:60名 	△	継続	○	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
図書館サービス網の強化		・ビジネス支援のための本や資料を購入・収集した。また、ハローワークから就職情報を取り寄せて閲覧できるようにした。	△	継続	○	
		・インターネット環境の整備を行った。 公衆無線LAN設置 閲覧パソコンの増設 インターネット利用状況:280名	△	継続	○	
		・平成29年度システム更新に向けての基本計画策定 基本計画策定の準備はしたが、豪雨災害の影響によりシステム更新を延長する。	△	本館の復旧工事を優先するため、システム更新を1年延長する。	○	
		・読書団体、子ども文庫等と連携した団体貸出の活動強化 読み聞かせボランティア等への貸出を行った。	△	継続	○	
		・「小中学校のための常総市立図書館活用のご案内」の活用による市立図書館の利用促進 ・職場体験学習の受入れや図書館見学、 ・一日図書館員を実施し図書館の利用促進に努めた。	○	継続	◎	
		・図書館ホームページの充実 図書館利用のPR、イベントポスター・パンフレットの作成配付 各種イベント開催において、HP及び広報紙、図書館内にイベントポスターを掲載した。	○	継続	◎	
		・雑誌スポンサー制度による雑誌の充実 所蔵する雑誌のカバーに事業所等の有料広告を掲載することにより、図書資料購入の財源を確保し、雑誌の蔵書の充実を図った。	△	継続	○	

2-(2) スポーツの振興					
①スポーツ施設の有効利用					
スポーツ施設の整備・充実	【指定管理施設市負担整備事業】 ○水海道総合体育館 放送設備修繕 2,851,200円		平成27年度より指定管理者 (ミズノスポー		・指定管理者制度の導入により、スポーツ専門家との連携や利用者の満足度が増したように感じる。今後も継続を望む。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		<p>○石下総合体育館 遮光カーテン修繕 200,000円 大屋根防水修繕 280,800円 移動式バスケットゴール修繕378,000円 自動ドアモーター部修繕 190,080円 自動ドアコントロール部修繕216,000円</p> <p>○きぬ温水プール サッシ修繕 126,306円 シャワー室サッシ修繕 123,930円 採暖室内ヒーター修繕 475,200円 滅菌装置修繕 135,000円 更衣室シャワー修繕 64,800円 漏水修繕 234,360円 女子トイレ扉修繕 198,504円 照明灯修繕 210,600円 更衣室除湿機修繕 593,352円 制御盤修繕 198,440円</p> <p>○水海道球場 ケーブルLBS修繕 165,110円 変圧器絶縁修繕 159,300円</p> <p>○きぬサブグラウンド グラウンド整備 1,242,000円</p> <p>○吉野サン・ビレッジ サッカー場水銀灯修繕 218,160円</p> <p>○石下テニスコート 人工芝改修工事 15,066,000円 (内スポーツ振興くじ助成金 9,969,000円) テニスコート時計修繕 230,040円 倉庫オーバースライダー扉修繕74,520円</p> <p>○石下球場浄化槽修繕 57,240円 総合計 23,688,942円</p> <p>【指定管理外施設整備事業】 ○豊岡球場駐車場整備 289,224円 ○旧橋本運動公園テニスコート面修繕 298,080円 ○石下西体育館解体工事 28,404,000円 総合計 28,991,304円</p>	○	ツ株式会社)による社会体育施設の一部の指定管理を導入したことから、指定管理者との連携を図り、利用者の安全や満足度の向上を考慮しながら、老朽した施設の改修、修繕を継続し、スポーツ環境の充実に努める。更に、平成31年度開催される第74回国民体育大会ハンドボール競技会場として選定されており、今後も計画的、継続的に整備事業を継続していく。	◎	・平成31年度の国体ハンドボール開催市として不備のない施設整備、運営を期待したい。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		【指定管理者による施設整備実績】 ○水海道総合体育館 425,576円 ○きぬ温水プール 108,348円 ○水海道球場 75,642円 ○石下総合体育館 208,201円 ○石下球場 46,445円 ○吉野サン・ビレッジ 205,521円 ○その他整備関係経費 759,676円 総合計 1,829,409円				
	学校体育施設の開放	○学校開放施設 ・小学校 14校 ・中学校 5校 ○使用時間 ・小学校体育館 平日 18時～22時 土日祝 8時～22時 ・小学校校庭 平日 18時～22時 (大生小, 飯沼小のみ) 土日祝 8時～17時 (大生小, 飯沼小は22時まで) ※豪雨災害により一部開放を制限 (玉小体育館, 大生小体育館) (鬼怒川東地区小学校校庭) ・中学校体育館, 武道場 平日 18時～22時 土日祝 8時～22時 ・中学校校庭 土日祝 8時～17時 ※豪雨災害により一部開放を制限 (石下中体育館) ※特定天井等落下防止対策工事により 市内各小中学校体育館とも, 一時開放 事業を中断 ○使用団体数 81団体	○	地域住民の身近な施設である, 学校体育施設を開放することにより, 市民スポーツの拡大に努める。	◎	・学校は地域の文化, スポーツの拠点でもある。学校開放はコミュニケーションの場であると同時にスポーツ人口の拡大にもつながる。今後も積極的な開放を望む。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		○使用人数 ・体育館 46,427人 ・校庭 7,445人 ・武道場 9,108人				
	施設管理・運営体制の充実	平成27年度より、きぬ総合公園及び石下総合運動公園内社会体育施設並びに吉野サンビレッジサッカー場、テニスコートに指定管理者(株式会社ミズノスポーツ)を導入。※指定管理料 9,700万円	○	指定管理者の導入により細部に渡る施設整備の充実並びに指定管理者による独自事業によるスポーツ機会の拡大を図る。	◎	
	②指導者・活動団体への支援					
	指導者への支援と確保	○スポーツ推進委員活動 報酬 @30,000円×20名=600,000円 ①市民歩く会 指導補助係員 ②親子deいきいきスポーツフェスタ係員 ※いずれも豪雨災害により中止したため、活動なし ○スポーツ少年団指導者の育成及び確保 県スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会への参加(11名) ○スポーツ教室での指導者確保 ①柔剣道教室(体育協会石下柔道部・石下剣友会指導者) ②太極拳教室(体育協会太極拳部) ③ウォーキング教室(常総スポーツクラブ指導者)	△	市主催事業へのスポーツ推進委員の活用により、推進委員の活動を活性化に繋げる。また、市内各種スポーツ団体へ、国及び県が開催する指導者養成講習会や指導者研修会の情報を積極的に提供していくことで、指導者の資質向上に努める。更に、市が主催するスポーツ教室において、市内スポーツ団体会員を指導者として	○	・スポーツ推進委員，スポーツ少年団指導員，スポーツ教室指導者や各活動団体への支援は，スポーツ人口の拡大，指導者の資質向上に大いに貢献している。ひいては市の活性化にもつながるので積極的な支援活動を願う。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
				依頼し、地域の 人材を有効に活 用することで、 指導者の確保を 図る。		
	活動団体への支援	○体育協会並びにスポーツ少年団の事務局を課内に置き、加盟する各種スポーツ団体や会員の交流や自主事業の充実を図る。また、団体運営のための補助金申請を行う。 【補助金交付額】 ①体育協会 2,000,000円 ②スポーツ少年団 1,000,000円 【加盟団体数及び会員数】 ①体育協会 36団体 2,597人 ②スポーツ少年団 41団体 883人	○	体育協会並びにスポーツ少年団の事務局として、上部団体（日本体育協会、茨城県体育協会）等の情報を積極的に提供していくとともに、加盟するスポーツ団体への支援を実施し、主催大会の充実に向け、企画、運営を継続的に支援していく。	◎	
	総合型地域スポーツクラブへの支援	○活動事業の広報支援 【お知らせ版、ホームページへの掲載】 ※主催事業の募集 ○スポーツ事業の委託 【ウォーキング教室開催委託費 100,000円】	○	当市の総合型地域スポーツクラブは、財政的に小規模であるため、今後も活動場所の確保と広報活動により、広く市民に周知し、会員の拡大と事業の充実を支援していく。	◎	
③	スポーツ活動の促進					
	生涯スポーツの普及	○各種スポーツ教室の開催 【スポーツ推進・普及分野】 ①柔剣道教室(柔道 16名, 剣道 19名) ②ジュニアハンドボール教室前期(58名) ③ジュニアハンドボール教室後期(31名)		開催種目によっては、ニーズ度に差が生じ始めているため、指定管理者である		・豪雨災害による各種スポーツ大会の中止はやむを得ない。専門家である指定管理者とも連携し、充実した内容にしていきたい。 ・中止となった常総市駅伝大会

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		④レディースゴルフ教室前期(21名) ⑤レディースゴルフ教室後期(29名) ※硬式テニス教室, 卓球教室, ジュニアゴルフ教室は, 豪雨災害の影響により中止 【健康推進分野】 ①健康水泳教室(昼の部) 25日間(292人) ②アクアビクス教室前期 (35人) ③アクアビクス教室後期 (37人) ④太極拳教室 (22名) ⑤シェイプアップ教室 (34名) ⑥ウォーキング教室 (11名) ・開催教室 定員 1,060人 ・参加者数 605人 ・ニーズ度 57% ・一般会計事業費 590,500円 ※豪雨災害後開催した教室も含む	△	ミズノとの連携し, 新たな種目を取り入れ, 内容の充実に努める。	○	は是非実施していただきたい。 ・地元水海道二高のインターハイ優勝が契機となってハンドボールの街・常総が根付きつつある。国体ハンドボール開催市としてPRするためにもハンドボールの振興を願う。
	スポーツイベントの開催	○平成27年度親子deいきいきスポーツフェスタ ○合併10周年記念 常総市駅伝大会 ※いずれも豪雨災害により中止 ○復興事業 ミズノスポーツによるキッズヘキサスロン(小学校8校) ○復興事業 日本体育大学オープンキャンパス トップアスリートとの交流	×	市を代表するスポーツイベントととして定着しており, 今後もイベントの中に新たな種目を導入することを検討しながら継続していく。	×	
	自主企画の推進	○市内各種スポーツ団体への活動補助金申請交付(23団体) 519,008円	△	市内各種スポーツ団体の自主活動の活性化と充実のために継続していく。	○	
	競技スポーツの振興	○国体記念 茨城県中学校ハンドボール大会開催 ※参加校 男子 18校 女子 14校 合計 32校 ※事業費 447,900円 (内 市負担 298,500円)	○	平成31年度開催の国民体育大会におけるハンドボール開催地として, 大会の更なる充実と協議力の向上を視野	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 審判謝礼 15,000円 ・ 表彰費 250,000円 ・ 消耗品費 33,500円 		に入れ継続していく。		
2-(3) 地域文化の醸成						
①地域文化振興体制の充実						
	文化芸術振興計画の策定	文化芸術振興審議会諮問にかかる市からの答申により、審議会の開催および計画策定を検討するも、豪雨災害により未開催となっている。	△	引続き組織維持に努め、振興を計画する。	○	・文化芸術振興審議会が形骸化しないように有効活用を期待する。
②地域文化活動の推進						
	文化事業の推進	各団体の文化活動への支援は行っているものの「市民文化祭」や「公民館まつり」による文化団体の活動・発表の機会が豪雨災害により未実施となった。	△	引続き文化事業の実施に努める。ほか、文化財のデジタルアーカイブによる情報発信を計画。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の早期復旧を図り、市民文化祭や公民館まつりの再開を希望する。 ・長塚節文学賞は全国的に高い関心、評価を得ている。 ・文化財や文化事業等のデジタルアーカイブを利用した情報発信に大いに期待する。
	地域文化情報の発信	長塚節没後100年記念として講演会や小説「土」の上映等の顕彰事業を計画するも、豪雨災害により中止となる。「長塚節文学賞」は実施したものの、「篠山木挽き唄」および「市民文化祭」は豪雨災害により未実施となった。文化協会報は発行済であったが豪雨災害の影響により配布は平成28年度に見送り。	○	引続き情報の充実に努めるほか、文化財のデジタルアーカイブによる情報発信を計画。	◎	
③郷土遺産の保全と継承						
	郷土遺産の調査・保護の充実	鴻野山地区にて土地改良に伴う発掘調査事業を実施。	○	申請に応じ調査対象地において随時調査を実施。	◎	・先人の文化遺産を保全することは我々の責務である。現在保管されている施設の充実を期待したい。郷土遺産を守ることは市民一人一人にとってももちろんのこと、大切な公の事業であると考えている。
	歴史文化等資料の整備と情報提供	「千姫まつり」などにおいて史料展示などを実施。	○	引続き実施するほか、文化財のデジタルアーカイブによる資料の整備と展示や公開による情報発信を計画する。	◎	・鴻野山地区の発掘調査で出土した遺物については、市民への積極的な公開を望む。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
2-(4) 青少年の育成						
①青少年育成推進体制の強化						
	関係機関・関係団体との連携	茨城県及び公益社団法人茨城県青少年育成協会との連携を図り推進した。	○	引続き連携を図る。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成には、報（報告）連（連絡）相（相談）が大切である。問題行動の早期発見、傾向、対応等の情報は、連携によって得られる。 ・また、学校、家庭、地域の三位一体体制も不可欠である。今後もより緊密な連携を願う。 ・青少年相談員、高校生リーダーを積極的に活用し、青少年の実態把握も重要である。
	育成組織の強化	青少年育成常総市民会議の石下地区における支部が未設立である。	×	石下地区での支部設立を図る。	×	
②青少年育成活動の推進						
	学校・家庭・地域との連携	放課後子供教室を開催。 市内14小学校のうち11校で開催。	○	引続き開催する。	◎	
	活動企画の充実	ふれあいサマーキャンプを実施し、体験活動をおして健全育成を図った。また、リーダーズ高校生会とも連携し、活動の充実を図った。	○	引続き企画の充実に努める。	◎	
	地域環境の改善	青少年相談員による街頭指導活動や青少年育成常総市民会議各支部による「あいさつ声かけ運動」の実施及び通学路の安全点検を実施。	○	引続き活動及び運動を実施。	◎	